

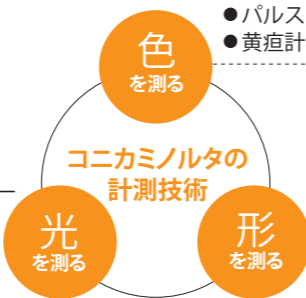
ものづくりの品質を支える「光」「色」「形」の計測技術を

“光を測る／光で測る”技術をベースに、さまざまな産業分野で用いられる計測機器を開発。性能や品質を測定・評価するための基準となるいわば“モノサシ”を提供することで、研究開発から生産まで、ものづくりの現場を支えています。

- 分光測色計
- 色彩色差計
- パルスオキシメーター
- 黄疸計

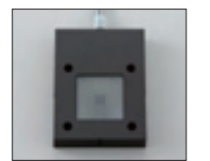
- 色彩輝度計
- カラーアナライザー
- 分光放射輝度計

- 非接触3次元デジタイザー



太陽光発電へ

太陽電池の性能評価には「擬似太陽光」が用いられますが、その光量がまちまちでは、正しい評価は得られません。コニカミノルタは、擬似太陽光の光量を設定するための「基準太陽電池セル」を開発し、太陽光発電の普及促進に貢献しています。



ReferencePVCellAK-300

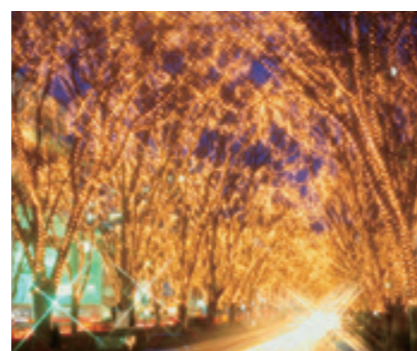


農業へ

葉に含まれる葉緑素の量を計測することで、植物の栄養状態を把握できます。コニカミノルタは携帯に便利なハンディタイプの葉緑素計を開発し、稲作をはじめとする農業分野においてロングセラーとなっています。



SPAD-502Plus

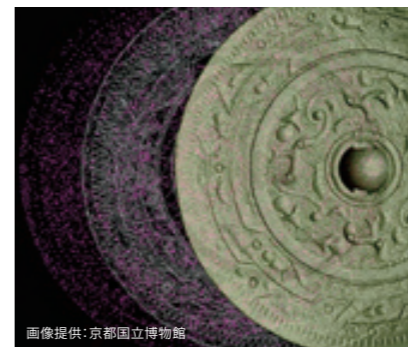


次世代照明へ

次世代の灯りとして期待されるLED照明。コニカミノルタは照度(明るさ)だけでなく、光の色あいや演色性も計測できる照度計を開発。LED照明の開発・生産や照明デザインの現場で役立っています。



CL-500A



画像提供: 京都国立博物館

文化遺産へ

コニカミノルタの非接触3次元デジタイザーで文化遺産や美術品の3D画像化が可能に。レプリカ作成や修復作業に世界中で使用されています。



KONICA MINOLTA RANGE7



ディスプレイへ

スマートフォンから大型テレビまで、ディスプレイの色、明るさの測定に、コニカミノルタの計測機器が業界標準として使用されており、ディスプレイの性能向上に貢献しています。



CS-2000A



食品へ

食品分野において重要度が増す色管理。コニカミノルタは小型・軽量・ワイヤレスで操作性に優れた分光測色計を開発。製造現場から品質検査まで、さまざまな場面で正確な色測定に活躍しています。



CM-5



自動車へ

自動車外装のメタリック、パール塗装や、内装に使用されている樹脂成形品など、さまざまな色測定のためのラインアップをそろえ、品質向上に貢献しています。



CM-700d